

えないと言われたこともある。だから、その地域の幹部職員が、同じ地域に住んでるわけですから、いろんなことを十分に聞いて帰ってくるのもたしかに一理あります。今後とも積極的に出かけていくことを、ここで約束します。

過去にタウンミーティングの反省会で、お年寄りを対象にするとか、女性、若者、あるいはPTA、消防団といったような対象範囲を限定したり、団体が関与されている場に積極的に参加をしていったらどうかという意見も過去から出ています。こういったことも参考にしながら、よりよいタウンミーティングができるように努力していきます。

## ファーマーズマーケット

**Q** JAファーマーズマーケットが6月に開設される。一般会計予算で1,000万円の助成金が計上されている。どのような目的で助成するのか。

**A** ファーマーズマーケット開設への助



工事が始まったファーマーズマーケット

成金1,000万円は、建設のみならず生産者が安全で安心な農産物を、年間を通じて出荷するための支援策として、生産者、兵庫みらい営農センターで組織しております運営委員会に諮りながら、高齢者の生きがいづくりや農家と消費者の顔の見える関係を構築し、市民や都市住民との農家の交流起点となるような支援を考えています。

**Q** オープンするときの商品の品揃えは具体的にどこまで進んでいるのか。農家の高齢者とか女性等に参加の場を提供するところがあるが、具体的には何人ぐらいが参加するようになってきているのか。

**A** 現在参加登録されている農家は85戸

で、生産者の研修会等で商品となる農作物づくりを目指して準備が進められています。最終の目標は、登録農家200戸を考えています。

**Q** 200の農家が目標で、現在85。目標の半分もついていない。6月の終わりに店を出すなら、もう出す品がどうなるといっていい。取り組みが一緒にやるには甘いのではないかと。

**A** 現在85の農家登録がありますが、これは主に夏野菜で、農家によつては秋物、冬物というような作付をされていますので、秋物の野菜等が出てきた時期にはまたそれに合わせた登録農家の増、冬物にすれば冬物登録農家の増が見込まれ、200農家というように目標を持っています。

## 交通事故裁判

**Q** 教員の交通事故裁判と使用者責任について。先般、顧問弁護士の裁判の状況報告では、和

解もやむなしとの見解が述べられたが、3月8日に大阪高等裁判所で3回目の口頭弁論が行われたと聞いている。その内容はどうだったのか。

3月8日、大阪高等裁判所で和解の話がありました。和解協議は、定期金賠償方式により、和解が可能かどうかが主な内容です。その一つとして、定期金賠償方式について原告父親に確認を取ったところ、当初は娘の死を待っているのかという感情的に受け入れ難い思いで難色を示されましたが、次回までに考えてみるとの返事です。

**A** 二つ目は、裁判官は、定期金賠償について、その範囲を介護費のみか、遺失利益も含めるのかといった枠組みを確定した上で、和解を進められるのかどうか今後見きわめたいとのこと。

以上が、昨日の大阪高裁民事部での和解の話。加西市としても、顧問弁護士の報告を聞いて検討した結果、和解の席について話を進めていくという姿勢で臨んでいます。

## あの請願・陳情どうなった？

3月24日(木)、市長より昨年議会で採択された請願及び陳情の処理の経過及び結果の報告が行われました。その中から主なものを紹介します。

○請願第1号(3月議会採

択)「市立加西病院・神経内科を現状のまま存続を求めることについて」

神戸大学より、医師不足のため平成16年度は神経内科医の派遣は無理とのことでしたが、4月から週1回、専門医の派遣が可能となりました。また、週2回パ

ートの専門医の確保が出来ました。神経内科の外来患者は内科、また、入院患者と予約外来患者は専門医が診察し、リハビリの処方箋は内科で行うこととしました。

平成16年10月から、週1回(木曜日)、神経内科外来にて診察(予約患者を対象)を始めました。今後とも医師の確保に努力します。

○陳情1号(12月議会採択)「田原保育園の現状維持を求めることについて」

田原保育園の現状維持、もしくは田原幼児園として

着工を求めることについて